

心を合わせて子どもをはぐくむ 伴谷小BCS ~わくわく のびのび ばんたにっこ~

甲賀市	活動名:伴谷小学校地域学校協働本部	伴谷小学校 学校運営協議会 : ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		
開始年度:令和4年度 地域学校協働活動推進員等数:13人 ボランティア登録数:40人		
■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■学校周辺環境整備 ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■その他(自治振興会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- (1)学校、保護者、地域が連携し、子どもたちが心豊かに成長できるかを考えて、一丸となって取り組んでいく。
- (2)地域の人的資源を最大限、学校教育に活かし、学校教育の充実だけでなく地域に生きる子どもたちを育していく。
- (3)地域との連携を増やし、子どもたちが地域の行事などに積極的に出かけ学んでいける環境づくりに取り組んでいく。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

3年目を迎え、確実に支援者を増やし、学習支援を中心に活動を開始した。

(1)学習支援

各教科の支援をいただき、子どもたちが学習しやすいように助けていただいた。

(2)環境支援

学習環境を整えていただき、校舎内外の清掃整備をしていただいた。



【 水口特産かんぴょう植え 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・支援のスケジュール調整を地域コーディネーターと地域連携担当教職員が打合せ、スマーズに活動に取り組めるように進めた。
- ・サポートー同士の交流や教職員との交流・熟議を大切にした。
- ・様々な地域団体との連携が大切になるよう意見交流をおこなった。
- ・地域の人たちとどのような活動をしたいのか、高学年の子どもたちにアンケートをとり、地域学校協働本部で検討した。

■ 事業の成果

- ・学習支援が充実してきた。具体的な学習指導に対して、きめ細やかな指導が可能となり、子どもたちの学習の定着が図られるようになってきた。
- ・児童は地域の方が学習に入ることで、学習意欲がわき、真剣に取り組もうとする場面が増えた。
- ・活動そのものが活性化されつつある。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・より一層地域での理解を進め、地域と学校が一体となって子どもたちを育てられるように進めていきたい。
- ・地域のCS理解を進め、一層活発になるように進めていきたい。
- ・保護者の方もサポートーとして確実に増えてきているが、さらに参画してもらえるように働きかけたい。
- ・子どもたちの意見や考えも取り入れながらよりよい活動にしていきたい。



【 プール掃除 】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会と連携しているが、今後どのように広げていくのか、地域に根差す協働活動ができるように進めたい。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(学年担任)

報告書記入者 (地域学校協働活動推進員)

つながろう ふれあおう 笑顔あふれる 柏っ子の“わ”！

甲賀市	活動名：柏木小学校地域学校協働本部	柏木小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		
開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：30人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保・見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 遊びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・昨年度は基盤づくりの年として、キャッチフレーズ「つながろう ふれあおう 笑顔あふれる柏っ子のわ！」の「つながろう」の部分を重点にしながら活動を進めてきたが、今年度は地域の方、サポーターの方々と「ふれあおう」を大切にしながら実施していくことについて協議し、遊びや学びの中でサポーターとともに活動する場を設定していく。
- ・「地或を学ぶ」「地域とともに学ぶ」活動を各学年の年間計画の中に組み入れができるようにしていく。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 昼休み「ふれあいタイム」の実施

5月より月1回、サポーターとのふれあいや子どもの体験活動の充実を目指して、昔遊び・風鈴づくり・囲碁・将棋・オセロ遊び・折り紙遊び等を全校児童に呼びかけて実施した。



【 ふれあいタイム 】

(2) 3年生総合的な学習の時間「ビオトープにホタルを呼び込もう」

ホタルの生態や地域の活動について、体験を交えながら地域の方やサポーターに教えていただきながら学習を進めた。



【 3年生総合的な学習の時間 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・本年度はサポーター会議を学校運営協議会委員・教職員との合同会議として、「語り合おう！柏っ子の未来」をテーマにグループ協議をおこない、共通課題や目指す子ども像についての思いを出し合った。
- ・柏っ子サポーターの活動紹介や募集等をCS便りの発行(保護者、学区の方々へ)をとおして周知を図ってきた。
- ・地域の団体の方々にも活動費を含めた支援が受けられるような活動を計画・実施した。
- ・サポーターの方々には学習支援や環境整備支援等の分野毎に登録していただいているが、全員に活動依頼メールを送り、活動を周知することで多くの方に参加していただけるようにした。

■ 事業の成果

- ・地域学校協働活動2年目となりサポーターの方々も学校を身近な場所と感じていただけるようになり、児童からも自然に声をかけたり活動のサポートをお願いしたりしている姿を見る場面が多くなった。
- ・昨年度は学習や行事、環境整備等の支援が中心であったが、本年度は「ふれあいタイム」を計画・実施し、各月60人から90人の児童が参加してサポーターの方々とふれあうことができた。
- ・活動依頼メールをサポーター全員に送ることによって、より多くの方に学校に来ていただけるようになり、やりがいやつながりを感じてもらえるようになってきた。
- ・子どもたちにとっての「安心感」と「体験活動の充実感」、教職員にとっての「教育活動の充実」と「業務負担の軽減」が取組の中でみられるようになった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

【課題】

- ・地域を知り、愛することにつなげる学習機会(ふるさと学習)をどのように取り入れていくか。
- ・サポーターの確保と一部の者だけの負担にならないよう、無理のない継続した活動にしていくことが必要。

【今後の展望】

- ・地域全体にCSと地域学校協働活動の取組をさらに周知するために、継続してCS便りを発行し、自治振興会や青少年育成団体との共同イベントの開催なども検討していく。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

自分を大切にし、人を思いやり、郷土を愛するみなくちっ子

甲賀市	活動名：水口小学校地域学校協働本部	水口小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和4年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務1人) ボランティア登録数:20人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行 政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・水小の子ども像:どんな子どもになってほしいか 「自分を大切にし、人を思いやり、郷土を愛するみなくちっ子」
- ・『郷土を愛する』とはどのような姿(こと)なのか

地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・6年生キャリア教育

地域の人々とのかかわりをとおして社会を身近に感じ、仕事をすることの意味や楽しさ、苦労や願いなど実感の伴った理解につなげることを目的とした。地域の方に来ていただいて職業についてお話ししていただき、仕事に対する興味関心を高め自らの将来における夢や希望を膨らませるものと考えた。水口小学校卒業生で、地域でご活躍のゲストティーチャー8名にお願いした。



【 6 年生キャリア教育 】

・グラウンド整備活動

水口まちづくり協議会と岩上まちづくり協議会を中心に、各地区的区長さんからの呼びかけで、地域の方々の多数の参加と保護者、学校の協力を得ることができた。当日は、100人を超える参加者となり、コミュニティ・スクールの理解を得る良い機会にもなった。

・放課後教室

開催3年目となり参加児童も増加し、宿題やプリント学習の後は、地域の方に来ていただいて様々な体験学習を実施した。

地域の方との交流により郷土を知る良い機会となった。学校には、教室や体育館等、場所の提供の協力を得て、幅広い体験学習が開催できた。

■ 実施に当たっての工夫

水口まちづくり協議会と岩上まちづくり協議会を中心に、地域学校協働活動の各関係団体との横の繋がりを大切にした。学校や保護者とも常に情報交換をすることで、それぞれの活動に協力を得ることができた。

■ 事業の成果

コミュニティ・スクールによる、グラウンド整備活動の呼びかけに、学校や学校運営協議会、地域学校協働本部が協力して説明し、たくさんの地域の方の協力を得ることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

まだまだ地域の方々への地域学校協働活動の周知が徹底できていないので、理解を得られない事が多い。今後の地域学校協働活動の充実のためには、複数回のカラーの広報誌の全戸配付や、SNS、公式ラインなどの活用を広げる。2つのまちづくり協議会や、協働活動関係団体の方々の協力をお願いし、学校支援ボランティアを増やしていくことに重点をおく。



【 グラウンド整備活動 】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会にて熟議された内容を基に、地域学校協働活動の方向性を決定し進めている。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

はじめようやってみよう～スマイルプロジェクトを地域とともに～（地域と学校が協働して取り組む活動）

甲賀市	活動名:貴生川小学校地域学校協働本部	貴生川小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		

開始年度:令和4年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務1人) ボランティア登録数:51人

- 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援
- 子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり
- 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加
- ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

- 学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行 政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域や学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域ぐるみでいさつ運動に取り組む方策
- ・子どもが地域に愛着と誇りをもてるような地域学習の展開
- ・学校行事や学習活動とまちづくり協議会の活動の有機的な連携
- ・子どもが主体的に取り組み、達成感を味わえる活動の工夫

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

«昼休みぬくもりボランティア自主企画»

以前より図書ボランティアを中心に昼休みに季節的な作品製作や体験活動を運営していたが、地域学校協働活動推進員が学校支援ボランティアや地域の方々にも広く呼びかけ、季節に合わせたより多くの企画を運営するようになった。



【 手作りここまでお正月をむかえよう 】

■ 実施に当たっての工夫

コミュニティルームを会場として行っているが、内容により希望者が多く入りきれない

場合もある。回数を増やしたり、学年を分けたりしてより多くの子どもの参加を呼びかけている。ボランティアにかかる人が増えたため、各々の趣味や特技を生かし内容の充実を図っている。

子どもがその場で作品を作ったり、遊んだりするだけでなく、作品を展示したりその様子を広報紙で住民の方々にも周知し、さらなる児童やボランティアの参加を期待している。

また、コミュニティルーム前には、ボランティアをはじめ学校に関わってくださっている人たちを紹介する「ボランティアの木」を掲示。地域の人たちも、「みんなを見守っている」という一体感を出している。

■ 事業の成果

子どもたちが楽しみにしており、多くの子どもたちの居場所づくりになっている。また、地域の方々と子どもたちの交流の場にもなっており、互いに顔見知りの関係ができて、地域でのいさつ運動にもつながっている。

また、昼休みの活動は、学年を超えた子どもたちの普段の様子を見聞きすることができ、高学年の子が低学年の子が困っていると助けたり、教えたりと、授業中では見られないほほえましい姿が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校支援ボランティアの自発的な運営に任せているが、地域公民館でのサークル活動と連携して昼休みに成果を子どもたちに披露したり、一緒に活動する機会を設けたりしていきたい。また、そこでのつながりから、地域の文化祭で貴生川小の子どもたちが出店していくような活動へと展開していきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会で承認された学校教育目標や目指す子ども像を本部会で共有し、その達成のための支援を意識して取り組んだ。年度始めに各団体の子どもにかかわる取組や行事を交流し、学校行事や学習活動と有効的にかかわれるよう協議を進めた。夏季休業中には、教職員、学校運営協議会と本部会にて貴生川学区の歴史とグランドデザインについて学び、地域のめざすところも学校と共にし、改めて「学校を核としたまちづくり」を進めていくことを確認した。また、毎年、年度末には学校運営協議会委員と学校支援ボランティアの方々の交流会を実施し、グループワークにより次年度に向けて思いやアイディアを出し合っている。



【 笑顔の花が咲くボランティアの木 】

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

- 校 長 ■教 頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

笑顔でふれあいつながろう 学校と地域が手をとり合って

甲賀市	活動名:綾野小学校地域学校協働本部	綾野小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務2人) ボランティア登録数:32人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・子どもたちや学校の実態を踏まえた「学校の運営方針・スローガンについて…学校経営管理全体計画を基にして
- ・学校運営協議会で取り組んでいく活動について(①学校教育支援 ②地域連携)…できることから無理をせずに!
- ・ボランティアの拡充に向けて
- ・広報誌の発行と内容の検討について



■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・(2年)かけ算九九教室(暗唱の聞き役)

2学期の休み時間に1週間の予定で実施したが、全員聞き取れなかつたために、期間を延長して実施した。また、九九が定着しているか確認するために、3学期も実施する予定。

- ・(6年)陸上チャレンジ

市陸上記録会に向けての練習に、種目ごとに数人ずつ毎回参加。チャレンジ前には運動場周辺の草刈り等の環境整備にも取り組んだ。

【かけ算九九教室】

■ 実施に当たっての工夫

- ・九九の暗唱が合格した児童には、手作りの合格メダルを渡した。CSルームでボランティアが作成した手作りの合格メダルを渡した。
- ・毎年放課後開催している陸上チャレンジを熱中症対策で朝一番に開催し、各担当に分かれて記録の補助や砂場整備等をしていただいた。また、学生ボランティア(卒業生)も参加し、短距離走やハードル走では、手本を示したり、一人ひとりにアドバイスをしたりしてもらった。

■ 事業の成果

- ・メダル効果は絶大で、児童は大変意欲的に教室に参加した。九九練習でも児童がお互い聞きあってから検定を受ける姿も見受けられた。また、メダルと一緒に製作するボランティア同士のつながりにも大きく貢献した。
- ・陸上チャレンジを朝一番に開催することで、ボランティアの参加が増え、どの方も複数回参加していただいた。陸上チャレンジの後、ミシンボランティアに参加する方もおられた。子どもたちが一生懸命活動する姿を見て、「こちらが元気をもらった」「また来るわ」と大変好感触であった。



【陸上チャレンジ】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今後どのように地域に広げ根付かせるか。細く長い活動になるように今後も無理のない範囲で活動していきたいと考えている。
- ・CSルームを活用することで、ボランティア同士の横のつながりを深めていきたい。気軽に学校に来てもらうために、「自分のできることを、無理なくできる範囲で！」を今後も継続していきたい。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他(学級担任)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

「みんな、笑顔まんたん小学校をめざして」～ 夢の子・風の子・光の子 伴谷東小学校 ～

甲賀市	活動名:伴谷東小学校地域学校協働本部	伴谷東小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		
開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:50人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部(クラブ)活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他(自治振興会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・野菜作りや田んぼの体験などを継続していくための後継者について、地域の皆さんの広く募集をかけ探し始めること。
- ・現在行っている、学校支援や地域学校協働活動を地域にさらに広報し、地域の皆さんに知っていただくことが必要であること。
- ・「笑顔まんたんな学校・地域」をめざして、学校と地域との連携を増やし、安心して学ぶことができる環境をつくること。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)各学年の学習支援

- ・1年:図画工作科:粘土あそび 2年:生活科:おもちゃ作り 3年:総合的な学習:畑大作戦 4年:社会科:信楽焼について知ろう 5年:総合的な学習:田んぼの体験 6年:家庭科:ミシン その他:逆上がり教室、やまびこ遠足、クラブ活動

(2)畑大作戦

- ・3年生が年間をとおして、畑づくりを学んでいる。秋には収穫した野菜(大根)を野菜市場として保護者や地域の方に販売している。今年度は、地域の畑でとれた野菜や地域の方から提供いただいた野菜も、子どもたちが地域の方と一緒に販売した。今後も少しずつ活動を広げていきたい。



【 野菜市場 】



【 稲刈り体験 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働活動推進員と担任、および地域連携担当教員が連携し、役割分担をして、学習支援していただく方やボランティアの方々と連絡調整をすることで、スムーズな運営をすることができた。
- ・地域学校協働活動推進員と担任が打合せをすることで、当日の活動についてのねらいなどを、学習支援ボランティアの方々が理解したうえで活動していただくことができた。

■ 事業の成果

- ・地域の方との協働活動により、子どもたちの学習意欲が高まり、活発に活動する様子が多く見られた。
- ・学校の教職員だけではできない田んぼづくりや、信楽焼の粘土遊び、郷土学習など、専門の技術を持っている方々から学ぶことにより、興味関心がより高まり、その後の学習につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・活動が、地域の中でも一部の方にしか知られていないので、学校内外での活動を広く地域の方に知っていただくよう広報活動をさらに進めていきたい。
- ・活動を知っていただくことにより、ボランティアの募集等さらに関わる人を増やして、持続可能な学習支援体制づくりとともに、地域で子どもを育てる環境づくりを進めたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会とは常に連携している。今後も地域学校協働活動がスムーズに運営できるように連携を継続させたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他(学級担任)

報告書記入者(校長)

Re : スタート 150年の時を越え新時代へ ~地域とともに~

甲賀市	活動名 :土山小学校地域学校協働本部	土山小学校	学校運営協議会 : ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:17人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			
■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)			

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・子どもが主体になるものにする。
- ・学校(子ども)の力を地域へ発揮する活動を進めていく。
- ・より確かな組織作りのために、各地域へ持ち帰り委員の役割認識を高めていく。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1)6年生 「ディスカバー土山」で地域連携 smile プロジェクト(土山小学校・フレンドマート土山店・道の駅あいの土山・土山サービスエリア)の一環として作成した。
企業からの情報提供と、学びの成果を併せて記載し、町内の公共施設にmapを置いた。学びを地域の方に披露し、「土山学」の集大成としての地域学習を行った。学校運営協議会でも子どもの地域行事参画を期待する協議があり、改善を加えながら実施した内容である。

(2)5、6年生「田村川学習」

川での体験学習であり、子どもの主体性を支援しながら安全確保と見守りを最優先にして実施。支援者の子ども時代の体験など、直接体験をとおして交流。

(3)3年生 地場産業である土山茶を学習するため、校内で栽培している茶園での茶摘み、茶農家の工場見学を行った。

茶工場見学では、刈り取られた茶葉がいろいろな機械を通るたびに様子を変え、だんだん細く仕上がっていき流れを学んだ。



【 CYATA(きゅうた)・map 】

■ 実施に当たっての工夫

- (1)子どもの主体的な力を育むための工夫
 ・管理職・教職員と推進員との事前打ち合わせの実施
 ・推進員による支援員への事前説明
- (2)新たな地域人材の発掘やつながりづくりのための工夫
 ・学校運営協議会委員が地域でのつながりづくりを進めるような意識改革
 ・自治振興会との連携(自治振興会の組織で支援の依頼)



【 道の駅リニューアルに向けて地域の方へのプレゼンテーション 】

■ 事業の成果

(1)地元企業や自治振興会との協働により、子どもの活動が地域に伝わりやすくなった。その成果は以下の2点である。

- ・子どもにとって、地域の方々に喜んでもらえたという、学びの充実感、達成感が醸成できたこと。
- ・地域住民にとって、地域の行事への子どもの参画による盛り上がり・活性化が図れたこと。

(2)学校の教育活動に地域支援員が参画することの成果は以下の2点である。

- ・支援員が参画することにより、グループ活動などにおいて子どもの多様な学びが実現できること。
- ・事前の支援員への連絡調整などにおいて教職員の働き方改革に寄与できること。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

特別な準備を必要とせず、継続できる内容で実施していくことが大切である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

運営協議会の委員には協働本部の委員を兼ねておられる方もあり、円滑な協働体制となっている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(全ての教職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つながれ 大原！ みんなで 笑顔に！

甲賀市	活動名：大原小学校地域学校協働本部	大原小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務2人) ボランティア登録数:90人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> □部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> □学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> □地域行事への参加 <input type="checkbox"/> □ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> ■郷土学習 <input type="checkbox"/> □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行 政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地或学校協働活動に関わる内容等)

- ・協働活動が主体的になるための工夫
- ・課題となる事業の対応
- ・目的や共通理解するべきこと 等



■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・草引き活動において、募集により自発的に参加していただける方が、保護者や児童の祖父母にも広がりつつあり、児童と一緒に活動できる機会を設ける意義も大きい。加えて、防草隊(草刈りグループ)が結成され、草の状態を見て自動的に何度も草刈り活動をしていただけるようになった。また、地域の方も折を見て草刈りを実施してくださっている。
- ・今年度から、地或学校協働本部に「大原のけやきと緑を守る会」を立ち上げ、草引き・草刈り活動もその一環を担うように位置付けた。また、シンボルツリーであるけやきについては、現在のけやきの養生に加えて、新しいけやきの植樹を行い、絶やすことなく地域とともにシンボルを守るしくみをつくった。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアは、誰でも平等であり、強制されるものではなく、自発的なものであると考え、任意団体には依頼しない。
- ・今年度から、ペーディングで地域に草引きボランティアを呼び掛けるようにした。目的は、募集はもちろんあるが、コミュニティ・スクールの活動を知ってもらうことでもある。また、毎月の地域向けコミュニティだよりも昨年から継続して内容紹介を続け、地域に発信している。



■ 事業の成果

- ・草引きグループが結成されたこと。
- ・図書ボランティアが、夏休みに読み聞かせとともに工作教室を企画・実施してくださいました。
- ・ボランティアに来ていただいた方が、「来てよかった。楽しかった。また来たい」と思っていただけているのが、一番の成果である。
- ・子どもたちからもCSの方に元気に挨拶をしたり、声をかけたりするようになり、安心できる学校活動に一役かっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・2年目であるため、1年の流れをつかむことができ、主体的にアクションを起こすことができた。
- ・ボランティアの年齢について、体育学習の専門学校学生以外は、ほとんどが70歳前後(定年が延長されたことも原因)であるため、長く続けてもらえる方がどれだけおられるかわからないので、常に新しい方を開拓する必要がある。
- ・中学校の協働活動との関わりも視野に入れる必要がある。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会のメンバーが協働本部のメンバーにも入っているため、活動への理解や協力が速やかであった。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校 長 教 頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担任・事務職員・用務員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

つなごう！育もう！油日っ子の未来のために

甲賀市	活動名:油日小学校地域学校協働本部	油日小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要		
開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:35人		
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援 図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[環境学習支援]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・子どもたちや学校の実態を踏まえた「学校の運営方針」についての協議
- ・地域学校協働活動を今年度から立ち上げるため、活動の中心となる学習支援ボランティアを募集し、学習、エコスクール、安全防災、環境整備支援を中心にできることから取り組んでいくことを協議した。
- ・広報誌「油日っ子 ♡ 育み隊！」の発行と内容についての検討



【 地域の人に山の仕事を教えていただく 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)学習支援

- ①4年やまのこ学習…油日・上野生産森林組合、財産区の人々
学有林・木の間伐・枝落とし・皮むき等の体験学習をした。
- ②5・6年シン学習…家庭科学習でボランティアさんの支援
- ③2年九九学習…聞き役 ボランティアさんの支援



【 ササユリ学習 】

(2)エコスクール支援

- ①6年「ササユリ学習」…地域の区の皆さんや甲南高校の協力
市の花である「ササユリ」の球根の培養、植え付けを行った。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティア募集については、募集チラシを保護者及び学区区長会を通じて油日学区に全戸配布した。
- ・学習支援については授業までに、担任、地域連携担当教職員(教務主任)、地域学校協働活動推進員が十分話し合い、事前準備を行った。

■ 事業の成果

- ・充実した学習活動になったとともに、教職員の負担軽減にもつながった。
- ・開始初年度ということもあり、手探り状態で進んでいったが、学習支援を中心に子どもたちと交流活動を進め、参加したボランティアさんからも「楽しかった。」という言葉を多くいただいた。
- ・普段なかなか支援に携わっていただけない地域の方が学習支援をとおして、比較的気軽に学校へ来ていただいた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校の保護者を含めた地域全体への周知をさらに進めていくことによってCSへの理解が深まり、ボランティアの数も増えていくと考える。
- ・ボランティアについては、特定への団体への依頼を減らし、賛同していただける個人中心に少しずつ輪を広げていきたい。
- ・地域学校協働活動推進員の役割が大きく重要なため、できれば2名体制にしていきたい。
- ・CSに参加するボランティア同士の交流会を設けていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校運営協議会において、活動内容や予算についてさらに検討していく必要がある。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他の)

報告書記入者(校長)

ふれ愛 おくり愛 心はじける さやまっ子!!

甲賀市	活動名：佐山小学校地域学校協働本部	佐山小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:18人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地元課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地元学校協働活動に関わる内容等)

昨年度が立ち上げ1年目で、どんな子どもに育てたいか熟議し次のようなビジョンを設定した。

「ふれ愛(横のつながり) おくり愛(大人から子どもへ世代を超えた縦のつながり)

心はじける(一人一人がもっている良さを主体的に発揮する) さやまっ子!!」

今年度はこのビジョンをもとに、どんな取組をしていくかについて熟議し、以下のような意見があった。

・経験と体験の場を増やすこと •学校行事や地域の組織とのタイアップ

・異年齢交流(中高生、大学生、高齢者など) •子どもから地域へ発信

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・夏休みわくわく教室

自治振興会とタイアップして、コミュニティセンターで行った。

地域の中学生や大学生も参加して、異年齢交流の場となった。

内容は、学習会、おにぎりづくり、カラーセラピー、ヨガ教室などである。

・わくわくフェスティバル

佐山学区育成会とタイアップし、中学生も招いて行った。

内容は、地域や老人会の協力のもと栽培したもち米を用いた収穫祭として、

もちつき、わら細工教室を子ども、中学生、保護者、地域の方々と行った。

どちらも、学校運営協議会で熟議した「経験と体験の場を増やすこと」、「学校行事や地

域の組織とのタイアップ」「異年齢交流」が体現できた。



【 夏休みわくわく教室 】

■ 実施に当たっての工夫

(1)子どもの主体的な力を育むための工夫

上記のわくわくフェスティバルを、地域の方に協力していただくだけでなく、子どもたちから日頃の感謝を伝える場とした。子どもたちから招待状を送り、各学年から、お礼の言葉や歌の贈り物をした。特に「ありがとうの花」を全校で歌ったことに地域の方からは喜びの声が聞かれた。

(2)新たな地域人材の発掘やつながりづくりのための工夫

今回、佐山育成会とタイアップしたことでの、中学生を招待できたことがとても好評だった。夏休み教室の大学生とのつながりも、新たな人材発掘につながり、大学生にとっても地域の良さを再確認するよい機会となつた。

■ 事業の成果

・学校だけでは実現できない、経験や体験の場を増やすことができた。

・「もち米づくり」や「地域の人の温かさ」などの佐山学区のよさを実感できた。

・保護者も、豚汁づくりや準備・後片付けなどを主体的に協力してくださった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティア登録数は昨年度より増えてきているが、まだ少ない。気軽に来校し、子どもたちとふれあってもらえるよう呼びかけたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

年度当初の取組としてあがっていた「子どもから地域へ発信」があまり実現していないので、今後の協働活動の中で意識していきたい。



【 わくわくフェスティバル 】

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(校長)

④地域と ④豊かにつながり ④美しい郷土と ④文化を育む			
甲賀市	活動名:甲南中部小学校地域学校協働本部	甲南中部小学校 学校運営協議会	: ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印			
開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:34人			
<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地元課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地元学校協働活動に関わる内容等)

- ・昨年度の成果と課題をふまえた本年度の学校経営方針について→地域学校協働本部、地域住民への周知と理解を図る。
- ・ボランティア拡充とコミュニティルームの活用について
- ・甲南中部まちづくり協議会との連携のあり方と「中部っ子まつり」の内容について



【 中部っ子まつり 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- 本年度は学校と地域の結びつきをより深めるため、甲南中部まちづくり協議会と連携した協働活動を模索してきた。
- ・11月12日に協働活動の一環として「中部っ子まつり」を実施した。児童の学年音楽発表の後、①見守りボランティアの方々を招待し手紙と共に感謝の意を伝えた。②児童と保護者、地域の方々が一緒にマジックショーを楽しんだ。
 - ・「子どもの地域行事への参画」の具現化のため、甲南中部まちづくり協議会主催の文化祭に児童の作品を出品した。
 - ・12月8日には環境整備として小学校の時計台のベンキ塗りをまちづくり協議会の方々にしていただいた。3月には、地域のシンボルであり小学校の課外活動で訪れる奉公山で6年生が卒業記念として桜の苗木を植樹する予定である。

■ 実施に当たっての工夫

- ・「中部っ子まつり」を実施するに当たり、地域の方々に来校してもらえるような内容をどうするか等についてまちづくり協議会と何度も協議を重ねてきた。
- ・学校の負担が増えないように企画立案とイベントに係る経費負担をまちづくり協議会にお願いした。



【 文化祭での作品展示 】

■ 事業の成果

- ・学校・地域・保護者が一同に会した協働活動を実施することで、学校と地域の一体感を醸成するきっかけとなった。
- ・まちづくり協議会と十分話し合うことで相互理解が深まり信頼関係を築くことができた。
- ・まちづくり協議会と連携することで協働活動の広がりが生まれた。
- ・「中部っ子まつり」への地域の方々の参加は予想より少なかった。今後は内容や開催する時期を検討する必要がある。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・本校や地域の強みを生かした持続可能な協働活動のあり方を次年度以降も模索する必要がある。
- ・さらに協働活動を充実していくためにも地域住民への広報活動と新しい人材発掘に努める必要がある。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(事務職員)

報告書記入者 (地域学校協働活動推進委員)

自ら学び、心豊かでたくましく、地域を愛する子どもの育成 40th anniversary

甲賀市	活動名 :希望ヶ丘小学校地域学校協働本部	希望ヶ丘小学校学 校運営協議会 : ■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印		
開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:0人		
<input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行 政 ■希望ヶ丘学区まちづくり協議会

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校と学区の協働事業を積極的に実施することで、学区全体で地域の活性化を目指す
- ・創立 40 周年記念事業の持ち方について
- ・小学校環境整備活動の実施



【 環境整備事業 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・学校創立 40 周年記念事業
コンパクトな式典、記念品の選定と費用支援
- ・小学校環境整備活動
グラウンド整備(草引き・草刈り)、校内清掃・窓洗い、学校周辺の獣害対策



【 創立 40 周年記念事業 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・創立40周年記念事業は保護者なし、来賓は最小限でコンパクト開催した。
希望ヶ丘学区まちづくり協議会が、子ども達の印象に残る記念品贈呈を行った。
- ・学校は子どもたちが多く時間を使っている場所であり、学校と地域住民との連携は、子どもたちの安全安心な環境づくりや豊かな学びの機会に繋がる。
環境整備活動を学校と地域が協働で実施したり、学校周辺の獣害対策を行ったりして、子ども達の学習環境の向上する事業を実施した。

■ 事業の成果

希望ヶ丘学区まちづくり協議会は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一歩的に進めるため、そして地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるために「学校を核とした地域づくり」を目指し希望ヶ丘小学校と連携・協働するための協議を積極的に行っている。多岐にわたる活動を通じて、学校と地域が一体となった教育環境の整備や安全に貢献した。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学区からより多くの地域住民が参加し、多様な地域学校協働活動が実施されるよう協議を重ねている。

■ その他(子ども健全育成に関する事業の総合的な実施)

青少年健全育成に向けて、学校との連携・協働を積極的に進めている。災害時の避難場所となる小学校には市の備蓄とは別に防災備蓄水・救急用医療資機材・防災無線などを分散配置し、ローリングストック備蓄水を設置している。また子ども達の安全を確保するため、円卓会議・見守り隊事業・子ども見守り登録・ラジオ体操運営・立ち当番用旗の提供・雪の日の通学路の融雪剤散布などを引き続き実施する。

■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進委員)